

東海技術サロン

2008年度のサロンは終了いたしました。多くのご参加ありがとうございました。

化学技術に関連した興味深いテーマを取り上げて、講演会を開催するとともに、講演会終了後は、講師を囲んだ懇親会を実施しています。

参加をご希望される方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAX (052-204-1469)にて事務局までご提出ください。

PPT PDF

2008年度案内 (申込)



2008年度 東海技術サロン

(第71回CSTCフォーラム・第94回東海技術サロン)

明日を切り拓くナノ空間材料の応用！

ナノ空間材料としては、結晶構造中に分子サイズの空間を有するゼオライトやメソポーラスシリカが著名です。持続的な社会を実現するため、環境・エネルギー分野で中心的な役割を期待されています。現在、ナノ構造の自在な制御法の開発、新規ナノ空間材料の創製により、自動車用触媒・吸着剤、燃料電池、光学デバイス等への応用が盛んに研究されています。

そこで、今回、斯界の識者を講師にお招きし、ご講演をいただくことを企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちしています

日時：平成20年9月22日（月）14：30～18：00

場所：今池ガスビル7階B会議室＜詳細地図裏面参照＞

名古屋市千種区今池一丁目8-8（TEL：052-732-3211）

主催：財団法人中部科学技術センター 東海化学工業会 化学工学会東海支部

☆☆☆プログラム☆☆☆

14：30 開会挨拶 東海化学工業会

14：40 講演Ⅰ

「ナノ空間材料の自動車排ガスへの応用：HC Trapとスス燃焼触媒」
東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻 教授大久保達也氏

15：40 休憩

15:50 講演II

「エネルギーの大規模削減を可能とする規則性多孔体薄膜技術の展望」

早稲田大学先進理工学部応用化学科 教授松方正彦氏

16:50 講演終了

17:00 交流会

挨拶財団法人中部科学技術センター

場所 7階A会議室

18:00 閉会

定員：100名（締切：9月12日（金）定員になり次第締切ます）

参加費：講演会無料

交流会2,000円（当日受付にて徴収）

申込方法：申込書をFAXでお申込ください。または、インターネットで、（財）中部科学技術センターHP（<http://www.cstc.or.jp>）よりお申込ください。

（参加証は発行いたしません。）

申込、問合せ先：〒460-0008名古屋市中区栄2-17-22

（財）中部科学技術センター担当大澤

FAX：052-204-1469 TEL：052-231-3043

東海技術サロン講演一覧（～2008年度）

題目

「ホロニック・パス-科学技術発展の方向を考える」
「静岡県の地震対策300日アクションプログラム」
「食と健康・老化」
「味覚・嗅覚情報の定量化にせまるー吟醸酒を例として」
「アメリカの企業風土ー日本と比較して」
「誰でもできる発明・発見、とても易しい発明・発見」
「人生の勘どころ」
「長寿を目指す健康支援ー新たな研究と戦略」
「お茶の化学成分とその機能性」

講演者

野田三喜男氏（愛教大）
渡辺晃男氏（静岡県防災局）
並木満夫氏（名大名誉教授）
小林 猛氏（名大院工）
飯久保祐一氏（Great Lakes Chemical Corp.）
宇田成徳氏（広島県技術アドバイザー）
松原敬生氏（東海ラジオ）
下方浩史氏（国立長寿医療研）
富田 勲氏（静岡産大）

「基礎からわかる光触媒のはなしー21世紀を拓く環境技術ー」	埴田博史氏 (産総研)
「らせん高分子のナノ構造制御の魅力」	岡本佳男氏 (名大院工)
「窒化物半導体の研究と青色発光デバイスの創出」	赤崎 勇氏 (名城大学)
「青色発光ダイオードの開発・実用化」	太田光一氏 (豊田合成)
「カーボン・ナノテクノロジーの現状と将来」	篠原久典氏 (名古屋大学)
「カーボンナノチューブのディスプレイデバイスへの実用化技術の研究開発」	上村佐四郎氏 (ノリタケ伊勢電子)
「携帯機器用燃料電池技術の現状と未来」	山口猛央氏 (東京大学大学院)
「自動車用燃料電池技術の現状と課題」	森本 友氏 ((株)豊田中央研究所)
「メイクアップ化粧品における粉体技術の応用」	鈴木高広氏 (ロレアル化粧品 (株))
「機能性食品の研究・開発-セサミンを中心にして-」	小野佳子氏 (サントリー (株))
「ナノ空間材料の自動車排ガスへの応用：H C T r a p とスス燃焼触媒」	大久保達也氏 (東京大学)
「エネルギーの大規模削減を可能とする規則性多孔体薄膜技術の展望」	松方正彦氏 (早稲田大学)